

小田原市学校教育振興基本計画（案）に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市学校教育振興基本計画
政策等の案の公表の日	平成24年11月20日
意見提出期間	平成24年11月20日～平成24年12月19日
市民への周知方法	おだわらいふ11月15日号、ホームページ掲載 資料配架（教育総務課、タウンセンター、支所・連絡所、 窓口コーナー、行政情報センター、生涯学習センター、図 書館、市立小中学校、公立幼稚園） 市民との意見交換会の開催（11月20日）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	39件（12人）
インターネット	1人
ファクシミリ	0人
郵送	1人
直接持参	10人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	6
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	9
C	今後の検討のために参考とするもの	9
D	その他（質問など）	15

〈具体的な内容〉

(1) 策定の背景に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方 （政策案との差異を含む。）
1	「子ども会加入率」のデータについては、地域と関わりを持つことが難しいと受け止めている家庭が増えていることを端的に表している事例として、広く一般に判りやすい数字と表現だと思うし、子ども会の地域社会・家庭教育に果たしてきた役割を高く評価するものと受け止めている。ぜひ、このままの表記としていただきたいと思う。（P4）	D	貴重なご提言と受け止めますが、特定の団体への配慮が欠けていたと考えるため、該当箇所を修正します。
2	教育相談数の推移の表について、平成20年度からこれだけ劇的に減っていることについて、文章と併せてみても評価していいのか疑問が残る。相談の受け口が増えたのに、表の集計元が一緒なのかなど、どうもこの激減振りをそのまま受け止められる社会情勢にもないと思うためか合点がいかない。（P9）	A	校内支援室の整備や不登校生徒訪問相談員等の配置により、市役所の教育相談件数が減少したものと思われますので、表記を修正します。
3	いじめの状況において、改善率 100%としている点について、認知されたいじめのみを捉えたとしても 100%は馴染まない。相談した側の納得度で計るべきだと思うので、「対応しました」「解りました」ではないし、この問題で 100%ということはないと思う。（P10）	A	改善率についての表記を削除し、修正します。

4	<p>単純な築年数の区分けは意味がないと思う。建築関連法令的な視点で分けるなど、国土交通省で内装材の落下防止対策についても年度中に指針を纏める予定のようなので、「国の指針に沿って対応を順次進めることとする」が良いと思う。</p> <p>(P12)</p>	<p>現状の学校施設の状況把握としては、築年数による区分けによることも一つの方法と考えています。</p> <p>また、施設整備については、国の指針に沿って対応することを基本に、様々な視点による評価や区分けは、校舎リニューアル整備計画の見直し(P53,54)の中で整理し、取り組んでいきます。</p>
---	---	---

(2) 施策の展開に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	<p>小学校1年生の入学した時点で、既に学力の差があると思う。先生方の資質・力量にかかっていると思う。(P20)</p>	B	<p>貴重なご提言と受け止めます。</p>
2	<p>「おだわらっ子の約束」について、学校で「守れていますか」と子どもたちに質問するが、知らない子が多いと思う。(P23)</p>	C	<p>「おだわらっ子の約束」の実践につきましては、「小田原市がめざす子どもの姿」及び基本施策②-1に位置付けています。現在、各校でも様々な取組がなされていますが、今後も「おだわらっ子の約束」を実践する態度を育む取組を実践していきます。</p>
3	<p>大河ドラマなどの時代劇や「ゲゲゲの女房」の水木しげる氏の昔の生活振り、戦争体験などを、子どもたちに興味を引ける形で伝えられれば、現代の恵まれた環境に感謝する気持ちが湧いて来ると思う。(P24)</p>	C	<p>貴重なご提言と受け止めます。</p>

4	<p>ハートカウンセラーは子どもだけではなく、先生の相談窓口であって欲しいと、先生方の体調不良の話を聞くとと思う。(P26,49)</p>	<p>A</p> <p>教職員の相談については、教育指導課の教育相談員が受けています。また、産業医（教職員の心身の健康保持に当たる専門の医師）による相談も受けていますので、P49 について、記載内容を修正します。</p>
5	<p>いじめについては早期発見、迅速な対応をすることによって深刻な状態になる前に防げると思う。家庭で向き合うことは勿論だが、学校でも子どもたちと先生が1対1で話せることが出来るような時間があれば良いと思う。(P26)</p>	<p>C</p> <p>いじめ対策につきましては、日頃より、アンケート調査や面談、心理検査等によりきめ細かな実態の把握に努めており、今後とも充実を図ってまいります。</p>
6	<p>いじめ対策をもっと強化して欲しい。現代の子どもは忍耐と根性が欠けている分、弱い心を気楽に打ち明ける場や方法が必要だと思う。(P26)</p>	<p>D</p> <p>引き続き、相談体制の充実を図ってまいります。</p>
7	<p>いじめ・不登校の問題は、どの学校にも存在すると思う。認知されていないいじめを見つけてあげて欲しい。(P26)</p>	
8	<p>いじめを受けた子は人生を大きく変えてしまうこともあるので、傍に教育相談員や心理相談員が居てくれることはとてもありがたいと思う。(P26)</p>	
9	<p>冬場はウイルスが充満するので、集団生活している子どもたちに菌を増やさない、充満させないことを希望する。機械導入が難しいのであれば、タオル加温やアルコール消毒に力を入れて欲しい。(P28)</p>	<p>B</p> <p>教育委員会では、手指消毒剤やマスクなど、感染症対策のための消耗品費、医薬品や衛生材料の配布等、予防対策に努めています。なお、P29 の感染症に関する記述の位置を修正します。</p>

10	<p>学級閉鎖の基準人数を少なくし、早々、適切な判断をして欲しい。(P28)</p>	<p>D</p> <p>感染症等による学級閉鎖の人数については、特に基準は設けていません。学級閉鎖等を決定するにあたっては、学校長、学校医、教育委員会が平素の欠席率より急激に高くなったとき、また、その地域の流行状況を見て判断しています。</p>
11	<p>歯科刷掃指導は小学校1年生のみ対象ではなく、全学年が指導を受けたほうが良いと思う。(P29)</p>	<p>A</p> <p>各学校においては、歯科保健指導計画に基づき、全学年に対して歯科保健指導を行っています。歯科刷掃指導は、就学したばかりの児童に対して、特に力を入れ、指導を行っているものですので、表記を修正します。</p>
12	<p>子どもの体力の低下は幼少期から体を動かすことを大切に、幼稚園から取り組んで欲しい。遊具や運動に必要な用品の充実もお願いしたい。(P31)</p>	<p>A</p> <p>幼稚園では、文部科学省「幼児期運動指針について」(平成24年3月)に基づき、日々、楽しく体を動かしながら体力の向上を目指しており、今後ともその活動の一層の充実を図ってまいります。記載内容を修正します。</p>
13	<p>公立幼稚園もこれから色々と工夫をしていく必要があると思う。預かり保育の拡大、3歳児保育の導入などは良いと思う。(P32)</p>	<p>B</p> <p>計画に則り、子育て支援の充実を図ってまいります。</p>
14	<p>小学校ではスクールボランティアの活動が盛んだと感じていたが、まだ目標人数には遠く、私も参加して行こうと思った。幼稚園でも多くのスクールボランティアが関わって、園児たちが成長できたら良いと思う。(P33)</p>	<p>B</p> <p>貴重なご提言と受け止めます。</p>

15	幼稚園でも英語を取り入れているが、英語の前にまずは正しい日本語から教えて欲しい。(P37)	D 貴重なご提言と受け止めます。なお、幼稚園の英語につきましては、英語に親しみ、外国の人と触れあうことを目的としています。
16	災害対策や防災教育を、保護者も含めてもっと進めて欲しい。(P38,56)	B P38の「防災教育・避難訓練の内容の改善・充実」を通して、取組を進めてまいります。
17	保護者として思うことは、毎日、楽しく元気に学校・幼稚園に通ってもらいたいということであり、そのためには、学校・家庭・地域の協力が必要だと強く感じている。情報を共有することで、いじめの早期発見にもつながると思うので、学校・家庭・地域のつながりが強くなる方法があると良いと思う。(P45)	B P45の「地域一体教育の推進」を通して取組を進めてまいります。
18	教育の場で体験・交流も大切だが、昔のように学習発表会なども毎年実施して欲しい。(P45,47)	A 貴重なご提言と受け止めます。なお、各学校では、学習発表会や総合的な学習を通じて、名称や形態を工夫して、取り組んでいますので、P45について、記載内容を修正します。
19	昔と違い、最後までやってくれないことが多い。例えば、体育の逆上がりなどは出来ない子はそのままで、算数・国語なども先生によっては家任せになっている。時間がないのは分かるが、昔はどうにかしても先生が見てくれていたと思う。(P50)	D 貴重なご提言と受け止めます。今後ともきめ細かな指導に努めてまいります。

20	老朽化した学校施設の整備と改善は、安全・安心を確保するためにも早めをお願いしたい。(P53)	B	リニューアル整備計画の見直しの中で優先順位を設定し、取り組んでいきます。
21	トイレの洋式化工事が着々となされていること、嬉しく思う。校舎の耐震性は大丈夫なのか。(P53)	B	校舎や屋内運動場の主要構造部の耐震化については、平成21年度までに全て完了していますが、東日本大震災を教訓として、非構造部材の耐震化を進めていきます。
22	子どもが「学校のトイレは汚いから、我慢して帰ってくる」ということを聞いた。改善して欲しい。(P53)	B	リニューアル整備計画の見直しの中で優先順位を設定し、取り組んでいきます。
23	小学校では登校班を作って欲しい。高学年の子が低学年の子の面倒を見るのは当たり前だし、自然とそういう気持ちや責任感が生まれてくると思う。(P55)	D	貴重なご提言と受け止めます。なお、登校班の有無は、地域の特性や交通事情により異なっていますが、各学校では、地域の方々にご協力をいただきながら、安全な登下校に努めています。
24	自分の住んでいる地域はあいさつ・見守り隊などもないので、下校時にお年寄りの方などに立っててもらえるとありがたい。(P55)	C	本市では、学校、保護者、地域等の協力により、児童生徒の登下校時の交通安全指導や見守り活動を行っています。下校時の見守りについては、今後
25	下校時などは広がって歩いたり、走ったりする子どもが多く見られるので、地域の老人の方などに見守ってもらえると良いと思う。(P55)		

26	<p>学校の2学期制については、子どもたちは理解しておらず、流れに沿って「夏休みだから休み」「10月は成績表」「12月は冬休み」「3月は学年の終わり」となってしまうと思う。</p> <p>(P59)</p>	<p>C</p> <p>小田原市では平成18年度より、子どもたちの学校生活の充実と確かな学力の向上、学校の活性化や教職員の意識改革をねらいとして実施しており、その定着が図られていると考えています。今回のご提言を受け止め、今後とも、よりよい2学期制を実施していきたいと考えています。</p>
----	---	--

(3) その他に関すること

	意見の内容（要旨）	区分 市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	<p>小田原市は公園が少ない。夏などに気軽に水遊びができる場所があると嬉しい。わんぱくランドも車でしか行かない場所にあるのに、駐車料金を取るの是不思議である。それだけで行く気がなくなる。</p>	<p>D</p> <p>貴重なご提言と受け止めます。所管課に申し伝えます。</p>
2	<p>医療控除の対象年齢をもっと上げて欲しい。</p>	<p>D</p> <p>貴重なご提言と受け止めます。所管課に申し伝えます。</p>
3	<p>小学校3年生までの医療証を延ばして欲しい。</p>	<p>D</p> <p>貴重なご提言と受け止めます。なお、現在、近隣住民への配慮や、子ども自身が時間を意識する習慣を身につけることを目的に、チャイムを使用していない学校もございます。</p>
4	<p>小学校でチャイムがないということを知り驚いた。始めと終わりのけじめを付けるためにもあったほうが良いのではないか。</p>	<p>D</p> <p>貴重なご提言と受け止めます。なお、現在、近隣住民への配慮や、子ども自身が時間を意識する習慣を身につけることを目的に、チャイムを使用していない学校もございます。</p>
5	<p>授業の間にチャイムがないのでは、けじめが付かないと思う。</p>	<p>D</p> <p>貴重なご提言と受け止めます。なお、現在、近隣住民への配慮や、子ども自身が時間を意識する習慣を身につけることを目的に、チャイムを使用していない学校もございます。</p>

6	<p>小田原市はもっと教育分野に予算をかけるべきだと思う。未来を支えるのは子どもたちなので、ぜひ子どもたちにお金をかけてあげて欲しい。</p>	<p>貴重なご提言と受け止めます。今後とも適正な予算の確保に努めていきたいと思います。</p> <p>D</p>
7	<p>小田原城など、観光のためにお金を使うのは控えて、幼・小・中にももっと目を向けて欲しい。</p>	
8	<p>現代の子どもたちにとって色々な人とのつながり・関わりがとても大切だということが改めて分かった。いじめについても、我が子が大きくなるにつれて様々な不安や心配が生じてくるが、常に子どもの様子をしっかりと観察し、少しの変化にも気付いていけるよう、親として出来ることを、責任を持って努めていけたらと思う。</p>	<p>貴重なご提言と受け止めます。</p> <p>D</p>
9	<p>小田原市教育都市宣言について、グローバル化・国際化の現状や、新教育基本法の基本理念なども鑑み、「日本は世界の平和と人類の幸福に貢献する国を目指します。それに答えられる心身共に健康な日本人の育成を期して行います」と挿入したらどうか。もしくは、第5項の文中に「日本人（又は日本国民）として」と挿入してはどうか。</p> <p>世界から尊敬を受ける国となることが戦争を防止する。一人一人の国民の品格が国の品格となり、国民一人一人にその自覚を与えることが大切だと思う。</p>	<p>貴重なご提言と受け止めます。</p> <p>D</p>